

番号	16	平成26年度公共事業再評価調書			担当課名 森林整備課										
事業名	林道事業			事業主体	静岡県										
地区名	地八吉沢線			関係市町村	浜松市										
事業採択年度	平成6年度		工期	平成6年度～平成35年度											
再評価理由	前回実施(H21)後5年経過		工事着手年度	平成7年度											
事業費 (百万円)	全体計画事業費		H24年度まで	H25年度	H26年度見込	H27年度以降									
	4,500		2,359	195	56	1,890									
事業量	22,400m		11,619m	1,431m	157m	9,193m									
事業概要	<p>(1)事業目的 受益区域2,176ha(人工林面積1,981ha)の森林において、基幹的な林道を整備し、森林の適正な維持管理と効率的な木材生産による森林資源の循環利用を図る。 また、県道天竜東栄線や受益区域内の既設林道3路線と接続することで、浜松市天竜区佐久間町浦川1地内の各集落を連絡し、災害等緊急時の迂回路としての役割も期待される。</p> <p>(2)事業内容 ・計画延長：22,400m ・全幅員：4.0m</p>														
事業の必要性	<p>【視点1】</p> <p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 ・県では「ふじのくに森林・林業再生プロジェクト」により、充実する森林資源を低コストかつ安定的に利用する体制構築が進められている。そのような中、受益区域内の柱や板に利用可能な樹齢41年生以上の人工林(スギ・ヒノキ)面積は、平成21年度の1,420ha(72%)から平成26年度には1,580ha(80%)と増加し、木材の伐採・搬出作業の効率化が重要となっている。 ・開設工事の完成区間は、逐次供用を開始しており、開設した林道を活用し、以下のとおり森林整備が実施されている。 ※受益区域内の森林整備実績(H10～H24) 延べ626.5ha ※木材生産量(H10～H24) 15,456m³ ・沿線では、高性能林業機械による利用間伐を主体とした木材の安定供給体制づくりを進めており、作業道の開設も進んでいるが、大型車両による効率的な木材搬出を可能とする基幹林道の整備が不可欠である。 ・沿線では三遠南信自動車道の建設が進んでおり、平成30年には佐久間ICまでが開通予定である。</p> <p>(2)事業の投資効果 総便益(B)：7,374 百万円 (前回：6,759 百万円) 総費用(C)：5,412 百万円 (前回：3,964 百万円) 費用便益比 B/C = 1.36 (前回 = 1.71)</p> <p>(3)事業の進捗状況 進捗率(平成26年度末見込み) 【事業量】59.0% (前回 37.1%) 延長13,207m /22,400m 【事業費】58.0% (前回 44.3%) 2,610百万円 /4,500百万円</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>														
今後の事業の進捗の見込み	<p>【視点2】</p> <p>・事業の進行に伴い一部区間において予想以上に脆弱な地質がみられたために、必要な法面保護工を施工した結果、計画に対し開設単価の高騰と、事業進捗に遅れが生じているため、コスト縮減に努めつつ全体事業費の増額と事業期間の延長を行う。 ・近年の公共事業費の減少からも、本路線に割当可能な年間の事業費は限定されているため事業期間を平成35年までと、5年延長する。</p> <p>【事業計画変更】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画期間</th> <th>全体事業費(百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前(前回)</td> <td>H6～H30</td> <td>3,600</td> </tr> <tr> <td>変更計画</td> <td>H6～H35</td> <td>4,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>・本林道開設に対する地元の要望が強く、森林所有者との調整も整っていることから、事業は順調に実施できる。</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>							計画期間	全体事業費(百万円)	変更前(前回)	H6～H30	3,600	変更計画	H6～H35	4,500
	計画期間	全体事業費(百万円)													
変更前(前回)	H6～H30	3,600													
変更計画	H6～H35	4,500													
新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>【視点3】</p> <p>・地形に沿った縦断勾配、路線形を設定し掘削土量と切土法面の縮減を図る。 ・構造物を設置せざるを得ない場合は、従来のコンクリート構造物から工事発生土を用いて構築する補強土壁工、鋼製L型擁壁工等に見直すことにより一層のコストの縮減に努める。 ・地形等条件を勘案したうえで、路線沿線や林道路肩部分に残土処理場を併設することによって、残土の運搬処理にかかる費用の縮減に努める。</p>														
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を(<input checked="" type="radio"/> 継続) ・ 見直し後継続 ・ 中止) する。</p> <p>(2)理由 ・当該路線は費用対効果が認められるとともに、林業の振興と森林の適切な維持管理、地域活性化のために不可欠であり、地元の林道開設に対する期待、要望も強いことから、事業を継続する。 ・また、間伐等の森林整備と一体的に施工する森林作業道の開設を支援することで、供用区間の一層の活用を図っていく。</p>														

様式1

便 益 集 計 表

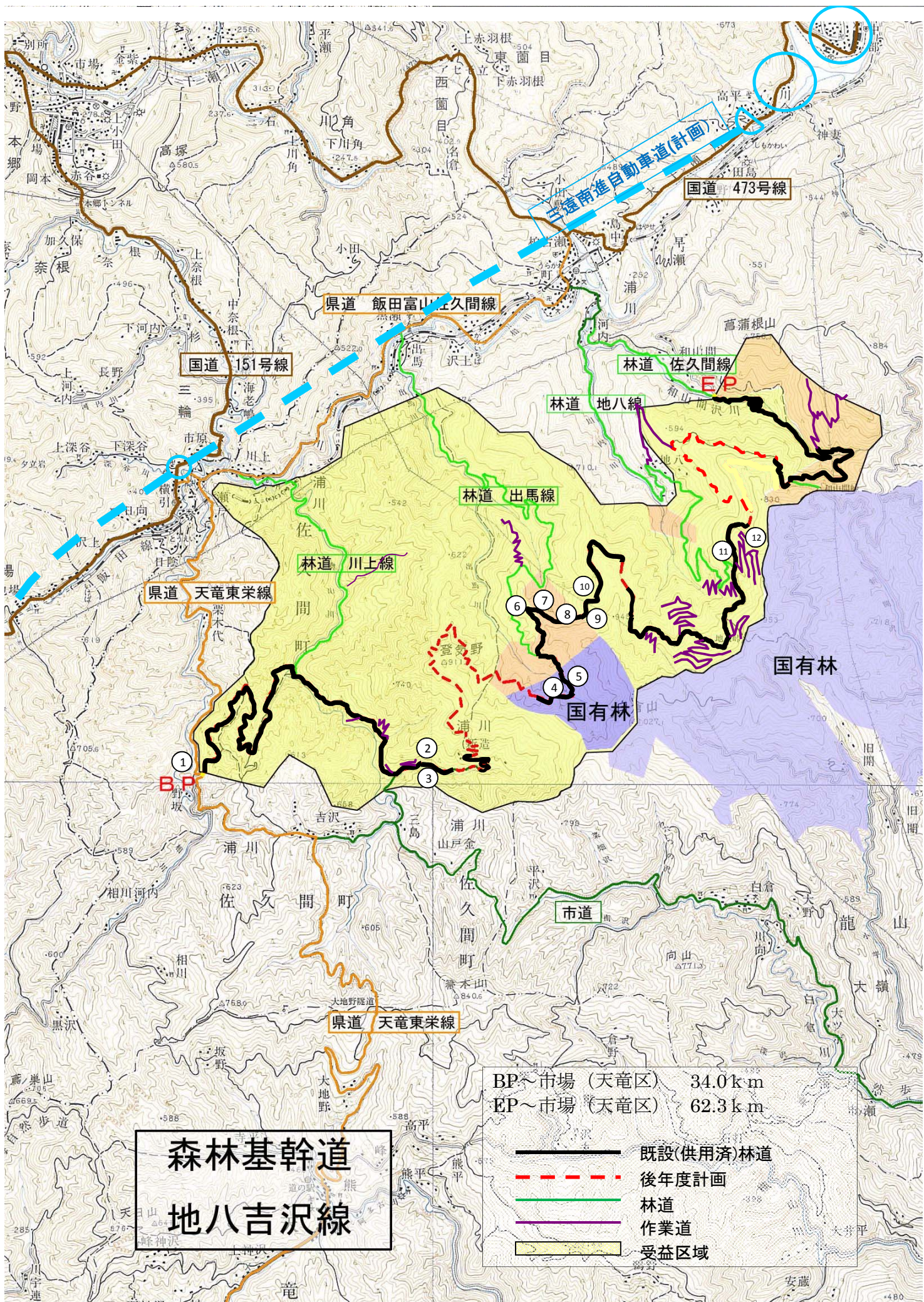
(森林整備事業)

事業名：林道事業
 施行箇所：地八吉沢線

都道府県名：静岡
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	1,845,919	
	木材利用増進便益	1,280,500	
	木材生産確保・増進便益	1,363,646	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,104,334	
	治山経費縮減便益		
	森林管理等経費縮減便益		
	森林整備促進便益	1,779,628	
一般交通便益	走行時間短縮便益		
	走行経費縮減便益		
森林の総合利用便益	アクセス時間短縮等便益		
	ふれあい機会創出便益		
	フォレストアメニティ施設利用便益		
	副産物増大便益		
災害等軽減便益	災害時迂回路等確保便益		
	防火帯便益		
	災害復旧経費縮減便益		
維持管理費縮減便益			
山村環境整備便益	生活用水確保便益		
	生活排水浄化便益		
	集落内除雪便益		
	土地創出便益		
	生活安定確保便益		
その他の便益	通行安全確保便益		
	環境保全確保便益		
	森林内施設管理経費縮減便益		
	ボランティア誘発便益		
総 便 益 (B)		7,374,027	
総 費 用 (C)		5,412,123	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{7,374,027}{5,412,123} = 1.36$		

※「林野公共事業における費用対効果分析について」 林野庁 H24.4
 (林野公共事業における事前評価マニュアル)



林道 地八吉沢線 写真



①地八吉沢線起点



②1工区 作業道と間伐箇所1



③1工区 開設状況1



④2工区 コスト縮減(補強土壁工)



⑤2工区 施工状況(モルタル吹付)



⑥3工区 開設状況1

林道 地八吉沢線 写真



⑦23工区 コスト縮減(鋼製L型)



⑧3工区 コスト縮減(補強土壁工)



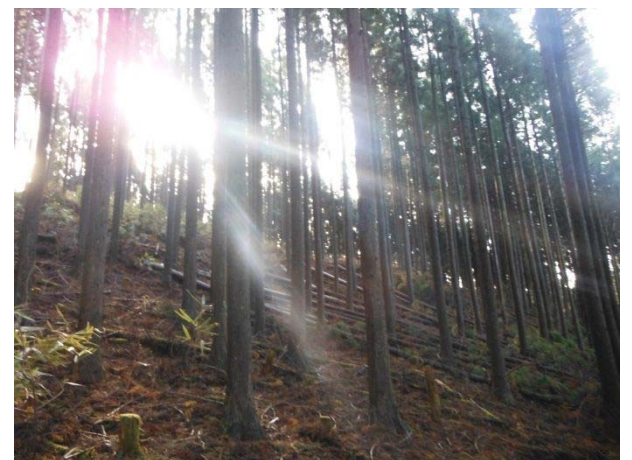
⑨3工区 岩法面風化状況



⑩3工区 施工状況(モルタル吹付)



⑪5工区 作業道と間伐箇所2



⑫5工区 作業道と間伐箇所4